シンポジウム「アエノコトの過去・現在・未来」

世界的に貴重な農耕儀礼「あえのこと」の保全と活用を考える

2月6日、シンポジウム「アエノコトの過去・現在・未来」がコンセールのとで開かれ、約100人が儀礼について学びました。国立歴史民俗博物館の松尾恒一教授が「アエノコト―日本の遺産　世界の遺産―」と題し、あえのことの語源や意義について講演しました。松尾教授は「田の作業には米作りをする人の願いが込められています。水田は人が長い間をかけて築き上げてきた歴史的社会景観・文化景観です」と話し、集落や家の様式をも含めて行事を伝承することが大切であると強調しました。「あえのことは日本人の信仰がよくわかる貴重な遺産。ぜひ未来に伝えていってください」と行事の伝承に期待を寄せました。

地域文化としてのアエノコトの重要性について話す松尾教授

金沢大学は、柳田地区でのあえのことと執行の状況について調査を続けています。3年目となる今年は、上町地区を中心に柳田西南部地区の調査を実施しました。金沢大学人文学類の虫明慧子（むしあけさとこ）さんが調査結果について報告しました。行事の呼び方については、「アエノコト」という名称よりも「タノカミサマ」という呼称の方が多いことを紹介。国の指定や無形文化遺産登録によって注目を浴びている中で、外部からの影響に左右されることなく、家に伝わる伝承に基づいて行事が行われていることがわかりました。「各家のあえのことを記録し、伝えることが、あえのことの保存継承につながると思います」と調査を振り返りました。

あえのことの聞き取り調査をする虫明さん

田の神様に豊作願う　春のあえのこと

昨年12月5日に家に迎え入れた「田の神様」を耕作に向けて送り出す「送りのあえのこと」が2月9日、町内各地で行われました。柳田植物公園の合鹿庵では上町の中正道さんが、種もみの俵の中で休んでいた田の神様を風呂に案内したあと、ごちそうでもてなして1年の豊作を願いました。合鹿庵では神様を、玄関の土間に送りました。土間は家の入口としての機能だけではなく、「ニワ」と呼ばれ、農作業に使う道具を作ったり直したりする場所でもあります。

午後からは国重地区の有志で行事を伝承している「田の神様保存会」が吉村安弘会長の自宅で送りのあえのことを行いました。合鹿庵と同様に風呂と料理でもてなしたあと、若松が立てられた田の一角に案内し、豊作の願いを込めて神様を送り出しました。

あえのことは各家々で行っている行事で、地域によってしきたりが異なります。雪の多い時期を避けて3月に行う地区や、送りの行事を行わない地区もあり、多様性に富んでいます。

お風呂から上がった神様を御膳の前に案内する

神様を田へ案内する吉村さん

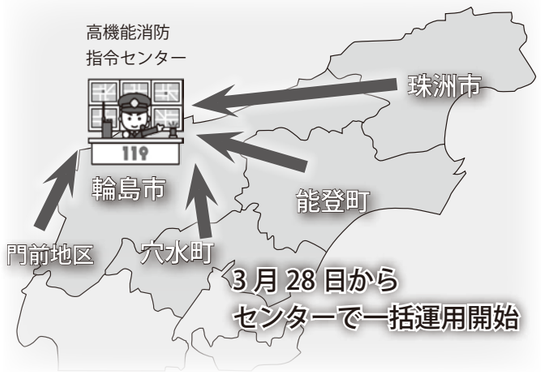
3月28日から119番通報は高機能消防指令センター（輪島市）で一括受付

奥能登広域圏事務組合消防本部の新庁舎移転に合わせ、3月28日から高機能消防指令センターの運用を開始します。

高機能消防指令センターでは、新たに導入される位置情報通知システムによって、通話しながら位置情報が通知されます。災害等の発生場所を素早く特定し、119番を受信しながら出動の指令ができますので、今まで以上に効果的な消防活動が可能になります。

注意

「184」が付加され、発信者番号非通知の場合、位置情報は通知されません。ただし、生命・身体等に差し迫った危険があるなど、消防本部等で緊急に位置情報が必要であると判断したときは、位置情報を取得することがあります。



高機能消防指令センターが置かれる本部庁舎

緊急通報システム「NET119」を導入

「NET119」は、事前に登録することで、携帯電話等から緊急通報ができるシステムです。聴覚や言語に障害のある人でも、簡単な操作で素早く通報が可能になります。

登録方法については今後、広報紙や消防本部ホームページなどでお知らせします。

119番のかけ方についてはこれまでと変わりませんので、落ち着いて通報してください。

問 奥能登広域圏事務組合消防本部
☎ 0768-22-0327

のと里山空港 3月のイベント

■ 6日㊐おらが故郷お国自慢～能登町～
時間　15:20　　**場所**　空港2階ロビー
内容　「バード・ハミング」によるミニコンサート

■ 13日㊐のっぴーグラスづくり
「のっぴーのイサザ採り」
時間　10:00～12:00、13:00～15:00
場所　空港1階　能登の旅情報センター
一家族1個、小学生以下優先、限定50個。
参加料無料です。

■ 20日㊐　おらが故郷お国自慢～珠洲市～
時間　15:20　　**場所**　空港2階ロビー
内容　「SUZUCA（スズカ）」によるミニコンサート

のっぴーのイサザ採り

まちの出来事

小木中・柳田中合同とも旗づくり

伝統の祭りで里山里海交流

小木中学校では毎年この時期、地元町内会の協力を得て、「とも旗祭り」の旗作りを実施しています。2月4日は、小木中の2年生15人に加え、里山里海交流を行っている柳田中の27人と合同で作業にあたりました。生徒は東町町内会員の手ほどきで、墨文字に三角形の金銀の紙「べた金」を貼る工程と、短冊をつないで吹き流しを作る「丸旗作り」を体験しました。祭り当日は、乗船体験でさらに交流が深められます。

小木中生徒に教えてもらいながら、作業を進める柳田中生徒

蟹を追い払い、松を立てる氏子

重年・十七夜祭り

若松に豊作の1年誓う

柳田・重年集会場で2月14日、「十七夜祭り」が開かれ、地元日宗屋神社の氏子ら約20人が神事に臨みました。直会で行われる「松祝い」では、全長1.5㍍ほどの松が用意されます。松を田、枝に群がる子どもを稲を荒らす蟹の子に見立て、祝い歌を歌いながら松の周りを巡って枝から子どもを離し、松を立てる神事で、田んぼをまめに回ることを意味しています。松を巡る滑稽なやりとりが続き、笑い声に包まれました。

長いのり巻きづくり

圧巻! 21㍍93㌢の太巻き

1月30日、内浦福祉センターで「長いのり巻きづくり」があり、児童と保護者など約100人が参加しました。今年で7回を数える恒例行事で、まつなみキッズセンターで活動する読み聞かせボランティア「ひまわり」のメンバーや松波公民館、食生活改善推進員、JA内浦町婦人部員が米や野菜などの食材提供や、調理補助で協力しています。

参加者はのりが破れないように慎重に具材を巻き、昨年より1㍍以上長い21㍍93㌢の太巻きを完成させ、めった汁と一緒に味わいました。

笑顔で太巻きにかじりつく参加者

具材を並べ、かけ声に合わせて一斉に巻く

柳田地区山村活性化協議会が勉強会

のとキリシマで所得増を考える

のとキリシマツツジを生かした能登町創生を考える研修会が1月23日に笹川のかじ旅館で開かれ、約40人がこの花による所得と雇用の増大策を考えました。

ＮＰＯ法人「のとキリシマツツジの郷」などでつくる柳田地区山村活性化協議会の主催で、元玉川大学講師で日本旅行作家協会常務理事の片山邦夫さんが講演しました。片山さんは、色彩で花をイメージできる「のとキリシマツツジ丼」などを提案しました。

のとキリシマツツジの活用策を話す片山さん

琴の演奏に挑戦する中国の児童

中国の児童生徒が能都中訪問

文化を超えた交流の輪広げる

1月29日、中国の小中一貫校・北京潤豊学校の児童生徒33人が能都中学校を訪問し、学校見学や授業体験で交流しました。能都中の生徒が中国語で歓迎の言葉を述べたあと、じゃんけんゲームを行い親睦を深めました。授業体験では、3班に分かれて美術・体育・音楽の授業に参加しました。音楽教室では、琴で「さくらさくら」の演奏を体験し、文化や言葉を超え、親交を深めました。

第12次インドネシア人漁業実習生修了式

能登での経験生かして活躍を

3年間の漁業実習を終えたインドネシア人漁業実習生の修了式が1月21日、県漁協小木支所で行われました。42人の修了生を代表して、第18旺貴丸（おうきまる）で実習したレザ・スリ・ウィジトさんが修了証を受け取りました。修了生はあいさつで「受けた多くのご恩を忘れずに過ごします」と船主たちへ感謝を表し、同期の研修生にも「一つの家族のようになれました」と呼びかけ、実習の日々に思いを巡らせていました。

インドネシアの正装「バティック」姿で修了証を受ける漁業研修生

漁業就労体験と製品開発について発表する水産コース生徒

能登高校地域創造科生徒研究発表

授業で培った研究成果を披露

1月26日、能登高校体育館で生徒研究発表があり、地域創造科の3年生が教育関係者や全校生徒を前に、研究成果を報告しました。地域創造科の商業・農業・水産・福祉の各コースには研究の時間があり、課題に取り組んでいます。水産コースの生徒は、10日間にわたる定置網就労体験や、低価格魚の製品化による収益の改善などについて発表し、「今後は日本の食料生産に励みたい」と抱負を述べました。

平成 27 年度能登町スポーツ表彰

輝く町のアスリート 今後のさらなる活躍に期待

町スポーツ表彰式が 2 月 19 日、役場能都庁舎であり、活躍を見せた選手の功績をたたえました。

各部門の受賞者は次のとおりです。

能登町スポーツ賞

因　京将（能登高）**米澤　要**（同）▽全国高校総体ソフトテニス・男子個人2位

安孫　幹（石川高専）▽全国高専体育大会バドミントン団体準優勝

川上春菜（七尾特別支援珠洲分校）▽2015ジャパンパラ陸上女子T20・100m3位

スポーツ賞団体

能登高校男子ソフトテニス部（因　京将、米澤　要、高宮　眞、山本貴大、松岡樹輝、山下康輔、端山都頼、東大成、米澤　優、奥野立樹、紬井洋一、大澤和馬）▽第40回全日本高校選抜ソフトテニス大会3位、全国高校総体3位、県高等学校選抜ソフトテニス大会1位

スポーツ奨励賞

半田翔誠（小木相撲教室）▽県少年相撲能登町大会・個人2年生の部優勝

加藤梨生（同）▽北信越少年相撲選手権・4年生の部個人優勝

田下威希（能都野球スポーツ少年団）▽第13回今泉杯西日本友好学童軟式野球大会準優勝

坂下ちえり（柳田中）▽全日本中学通信陸上県大会・女子共通砲丸投げ1位

奥野立樹（能登高）▽国体ソフトテニス少年男子出場

高宮　眞（能登高）**山本貴大**（同）▽北信越高校選抜インドア大会ソフトテニス男子個人2位

米澤　優（能登高）**東　大成**（同）▽県高校新人体育大会ソフトテニス男子個人1位

端山都頼（能登高）**山下康輔**（同）▽県高校選抜ソフトテニスインドア大会男子個人1位

尾形結熙（能登高）▽北信越高校体育大会アーチェリー男子個人3位

中村皓祐（同）▽県高校新人体育大会アーチェリー男子個人優勝

屋舗真吾（同）▽北信越国体アーチェリー男子団体2位

谷内桜花（同）▽国体アーチェリー少年女子出場

坂口達哉（飯田高）▽県高校新人体育大会ウエイトリフティング男子69キロ級第1位

村上　綾（日本航空高校石川）▽国体バスケットボール少年女子出場

三輪衿奈（七尾特別支援珠洲分校）▽全国障害者スポーツ大会卓球競技出場

奥野優奈（鵬学園高）▽県高校バスケットボール選抜優勝大会団体女子1位

紙子恭輔（金沢市立工業）▽北信越高校バドミントン競技大会団体男子2位

橋本　茜（金沢学院東高）▽県高校総体ソフトテニス団体女子優勝

堂野政宏（北陸学院高）▽北信越高校体育大会バスケットボール団体男子1位

寺下洸平（町ソフトテニス協会）**濵高彰仁**（同）▽国体ソフトテニス成年男子出場

山下藍里（町ソフトテニス協会）**元悠香**（同）▽県選抜インドアソフトテニス選手権女子個人優勝

駒寄真弓（町アーチェリー協会）▽国体アーチェリー成年女子出場

スポーツ奨励賞団体

能登高校男子アーチェリー部（堀内笙太、尾形結熙、中村皓祐、屋舗真吾、田形洸稀）▽北信越高校体育大会アーチェリー男子団体優勝、県高校新人体育大会男子団体優勝

能登高校女子アーチェリー部（宮下涼奈、谷内桜花、前名桃香、濵高三奈）▽北信越高校体育大会アーチェリー女子団体3位

能登高校女子ソフトテニス部（出村萌香、薮下舞琴、下畠奈巳、佐々木萌恵、谷村明日香、濵田瑠奈、濵中桃花、山本英里）▽県団体ソフトテニス選手権女子団体優勝

能登町相撲連盟（桑村颯太、中平翔伍、濵夢沙士、寅松大輔、寺下祐樹、又多敏晴、坂下昭徳、嶋恒英和）▽県体相撲男子団体優勝

能登町野球協会（安宅一幸、水島侑希、板谷浩史、東　世宗、山本　廉、兵伊司、谷口翔太、笹野耕太郎、石崎　蓮、石崎恭平、新谷諭史、紺井清志、水元佑哉、川本康太、脊戸瑞輝、平体達也、皆月　諒、川本京介、田中慎之介、松本　優）▽県体軟式野球男子団体優勝

スポーツ振興賞

小畑純夫（能登町卓球協会）▽旧内浦町卓球協会発足時から30年にわたり、事務局長、理事、理事長などの役職を歴任、平成17年からは能登町卓球協会事務局長として協会の運営発展にあたる。現在も選手として奥能登体育大会、県体に連続出場している。

※受賞者はスポーツ少年団や体育協会など各団体や学校から推薦を受け、能登町社会教育委員会の審議を経て決定されました。

受賞者を代表し、謝辞を述べる能登高校男子ソフトテニス部主将の高宮眞さん

小さな掛金・大きな補償

スポーツ安全保険 加入受付中

平成 28 年度のスポーツ安全保険の加入受付が 3 月 1 日から始まります。この保険は、アマチュアのスポーツ・文化・ボランティア活動等を行う 4 人以上の団体を対象として、団体活動中や経路往復中の傷害事故および賠償責任を負う事故を補償します。

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動・その他条件		加入区分	年間掛金（1人あたり）	傷害保険 死亡	傷害保険 後遺障害（最高）	傷害保険 入院（1日につき）	傷害保険 通院（1日につき）
				円	万円	万円	円	円
子ども（中学生以下）	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動		A1	800	2,000	3,000	4,000	1,500
	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動		AW	1,450	2,100	3,150	5,000	2,000
	上記団体活動以外（個人活動）				100	150	1,000	500
大人（高校生以上）	スポーツ活動	64歳以下	C	1,850	2,000	3,000	4,000	1,500
	スポーツ活動の指導・審判	65歳以上	B	1,200	600	900	1,800	1,000
	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片づけ		A2	800	2,000	3,000	4,000	1,500
全年齢	危険度の高いスポーツ活動		D	11,000	500	750	1,800	1,000

※上記以外にインターネット加入に限り、開催期間 3 カ月以内の短期スポーツ教室専用の加入区分があります

対象となる事故

団体活動中の事故、経路往復中の事故

受付期間

3 月 1 日から平成 29 年 3 月 30 日まで

保険期間

4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

（4 月 1 日以降の申し込みは、加入手続日の翌日から有効）

問公益財団法人スポーツ安全協会石川県支部
076-268-3100　http://www.sportsanzen.org/
町教育委員会☎ 72-2509